

猫多頭飼育崩壊 「どうぶつ基金」が飼い主に不妊手術の無料券交付 愛知・新城

毎日新聞 2020年10月6日 21時02分 (最終更新 10月6日 21時02分)

動物 > 社会一般 > 愛知県 > 速報 > 社会 > ライフ >



密集する猫たち=愛知県新城市で2020年9月25日午前10時54分、川瀬慎一郎撮影

[PR]

愛知県新城市の民家で約80匹の猫がすみ着き、十分に飼育されていない多頭飼育崩壊が起きている問題で、公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県芦屋市）は6日、猫の不妊・去勢手術の無料チケットを飼い主の男性に交付した。6匹の子猫を除く78匹が8日から順次動物病院で手術を受ける。

飼い主の男性は9月28日、猫愛護団体「ニャンとかしまい豊川」（通称・ニャン豊、愛知県豊川市）の協力で新城市を通じて同基金

に申請し、許可が下りた。

ニャン豊の夏目智子副代表は「これがスタート。手術後、人慣れさせて里親を探したいが、年単位になるだろう。先の長いフォローが必要」と話した。ニャン豊などボランティアは、猫の飼育環境の改善に向け、飼い主男性の家の清掃や猫用トイレの提供などを行っている。【川瀬慎一郎】



Timeline



0